

第1次石油ショックの経緯：原油公示価格の引き上げと生産削減

資料：『戦後石油産業史』219、232、245-6 頁など

1973年9月

イラクが、エクソン、シェル、モービルなど大手6社の資産の51%国有化を決定

1973年

10.06 エジプト軍とシリア軍、イスラエル占領地域に進攻（第四次中東戦争）。

10.16 OPEC（うちペルシャ湾岸6カ国）が、原油の公示価格を70%引き上げ。

10.17 OAPEC 緊急閣僚会議が、石油の生産を9月実績に対し5%削減する措置の実施を決定。日本を友好国には適用せず。

11.5 OAPEC 石油相会議、9月実績に対して一律 25%の生産削減と12月以降毎月、前月比 5%の追加削減を行なう生産削減の強化を決定。

11.27 アラブ首脳会議、12月の追加削減率5%の日本に対する免除を決定。

11.28 アラブ首脳会議、「1972年の水準を基礎として産油国の収入減が4分の1を超えない限度まで石油生産の漸減を継続する」ことを確認。

12.8 OAPEC 閣僚会議、1974年1月以降、毎月5%の上乗せ削減を決定。

12.22 OPEC、テヘラン会議にて1974年1月1日から原油公示価格の約2倍引き上げを決定。

12.25 OAPEC 石油相会議、1月の生産削減率を25%から15%に緩和し、日本を友好国扱いとすることを決定。